

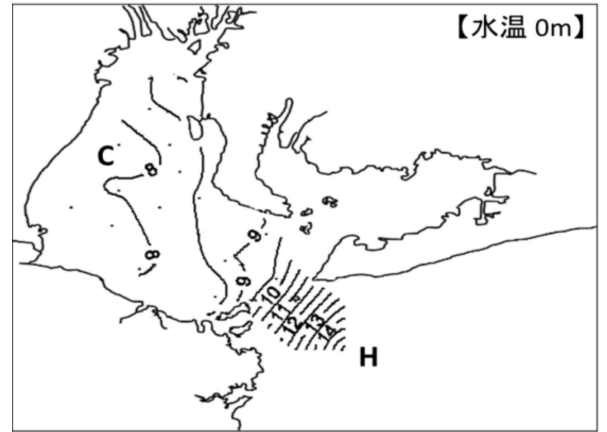
# 海況情報

愛知県水産試験場漁業生産研究所

平成30年2月9日

## 【内湾観測結果（調査日：2月8、9日）】

伊勢湾の観測を8日、外海の観測を9日に実施しました。表層水温は、伊勢湾で7～10℃、外海で10～15℃となっており、外海では引き続き黒潮からの暖水波及の影響で高水温となっています。湾口部～外海では、湾内の水と外海の水の水温差が大きくなっています。



## 【鉛直分布（調査点：P1～B）】

伊勢湾のP1～P17では水温が上層で低く、底層で高くなっています。湾口部（A1～B）では低温低塩分の内湾水と高温高塩分の外海水との間に熱塩フロントがみられています。塩分の低い河川水の流れ出しは降雨が少ないため湾奥（P5付近）にとどまっています。密度をみると、高密度水が湾口部から伊勢湾奥にむけて底層を進入しています。クロロフィルは、P1～P13の10m付近で高く、外海で低くなっています。

